

平成15～17年度SELHI研究開発の概要

- 1 SELHI学校名 高知県立高知西高等学校
- 2 研究開発実施期間 平成15年度 ～ 平成17年度
- 3 研究開発課題 多量のインプットを良質のアウトプットに高める体系的な指導システムの開発
- 4 研究計画 高校3年間を通じた体系的な英語指導システムの研究

研究内容	研究方法	研究評価方法
<p>①運用力のベーススキル育成プログラムの開発</p> <p>中学校英語の完全マスターを目指した集中的指導プログラムの研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合英語」において、意味理解に費やす時間を短縮して、英語そのものを使う時間を確保する授業の研究 ・学校設定科目「Power English I、II」のシラバスと指導方法の研究 ・多読プログラムの開発 	<p>英語コミュニケーション能力テスト (中学校での既習事項を完全に使いこなせるようになること)</p>
<p>②運用力向上のための指導プログラムの開発</p> <p>ベーススキルを効果的により高い運用力に高めるための指導方法の研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の諸課題を英語で学ぶ方法の研究を学校設定科目「Global Education I」を通じて行う (大学との連携) ・「英語理解」において、意味理解に費やす時間を短縮して、英語そのものを使う時間を確保する授業の研究 (和訳先渡し方式を利用した教科書の新しい活用方法の研究) ・学校設定科目「Power English III」のシラバスと指導方法の研究 (ディベートを活用した英語運用力の育成) 	<p>英語コミュニケーション能力テスト インタビューテスト エッセイライティング</p>
<p>③発信型グローバル・リーダー養成プログラムの開発</p> <p>身につけた英語運用力を駆使しながら課題解決学習を重ね、地球市民意識を持った真のリーダーを育成する指導方法の研究開発</p> <p><input type="checkbox"/>課題発見、課題解決能力の育成</p> <p><input type="checkbox"/>自らの考えや意見を発信する力の育成</p> <p><input type="checkbox"/>他者と協力して課題解決の方法を具体的な行動へと移していける集団リーダーの養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「Global Education II」により、英語による課題発見、課題解決学習の研究 (課題研究、卒業論文、卒業論文面接審査等) 【大学との連携】 ・学校設定科目「Power English IV」のシラバスと指導方法の研究 (ディスカッション) 	<p>TOEIC・IP 授業評価アンケート インタビューテスト エッセイライティング</p>

I. 研究開発課題

多量のインプットを良質のアウトプットに高める体系的な指導システムの開発

I.1 設定課題のねらい

- ・現在、日本の高等学校の英語授業において極めて少ないと報告されている「生徒が触れる英語量」を、和訳を先に渡すなどの工夫を用いて、具体的にどのくらいにまで増やすことが可能なかを調べ、その増えた英語量によって生徒の英語力が向上することを検証すること。
- ・高等学校での英語授業を通じて、生徒の「多量の英語インプットを良質のアウトプットに高める」ことができる3年間の英語指導システムを体系化すること。

I.2 用語定義

多量のインプット

- (1) 同じ教材を繰り返すことによる量
意味の分かった英語を様々な方法で繰り返すこと（リサイクル）
- (2) 異なる教材を使うことによる量
和訳配布などの工夫を通じて教科書を従来の倍の速さで終え、余剰時間でさらに多くの教材を採択すること

良質のアウトプット

- (1) スピーキングやライティングを通じて、事実や意見が正確に伝わるアウトプット
- (2) グローバル・エデュケーションが提唱している地球市民としての知識・感性を備えたアウトプット

体系的な指導システム

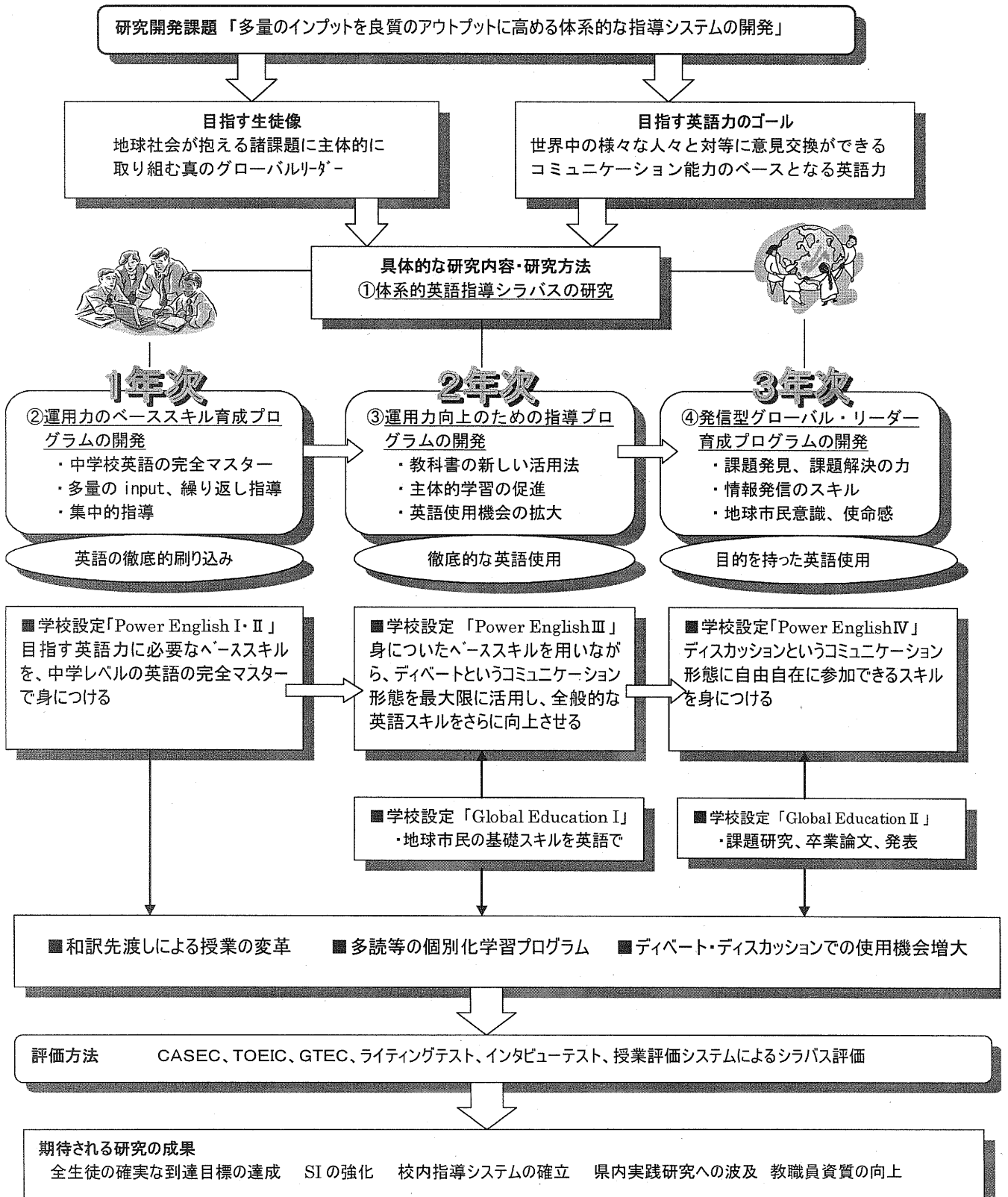
「世界の様々な人々と対等に意見交換ができるコミュニケーションのベースとなる英語力」を育成することを目的とした「多量のインプットをインテイク^(註)として取り込む授業」から「インテイクを効果的に良質のアウトプットにつなげる授業」に到るまでの効果的な配列

^(註)インテイク (intake)

“Intake is input which is actually helpful for the learner. Some of the language (i.e. the input) that a learner hears may be too rapid or difficult for the learner to understand therefore cannot be used in learning (i.e. cannot serve as intake)”

Jack C. Richards et al. (1992) *Longman Dictionary of Language Teaching & Applied Linguistics*, p.182.

I.3.3) 研究開発の全体構想



II.2 3年間の英語指導システム

高知西高校3年間の英語指導システム（全体図）

研究課題【多量のインプットを良質のアウトプットに高める体系的な指導システムの開発】

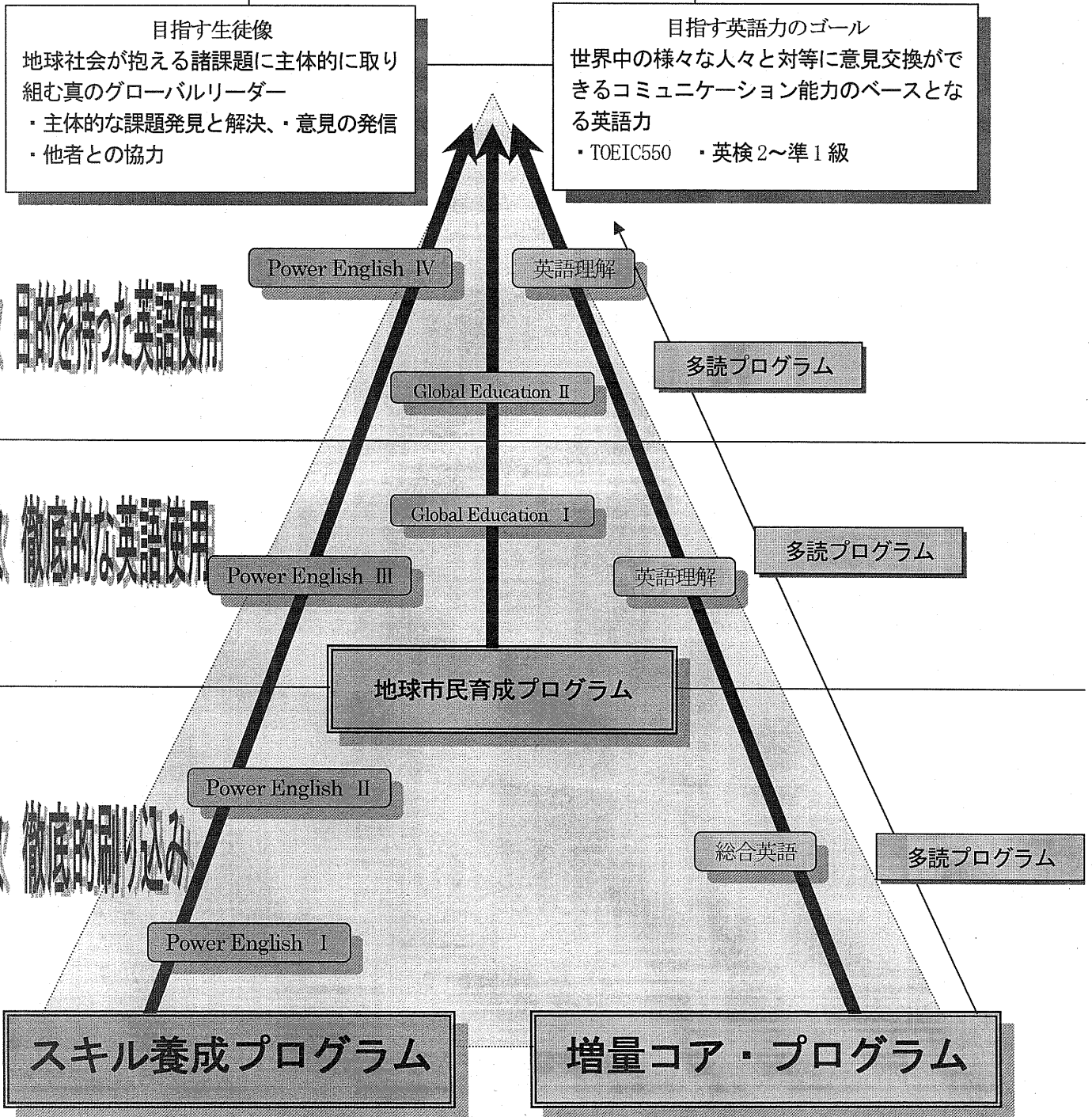
目指す生徒像
地球社会が抱える諸課題に主体的に取り
組む真のグローバルリーダー
・主体的な課題発見と解決、・意見の発信
・他者との協力

目指す英語力のゴール
世界中の様々な人々と対等に意見交換が
できるコミュニケーション能力のベースとな
る英語力
・TOEIC550 ・英検2～準1級

3年次 目的を持った英語使用

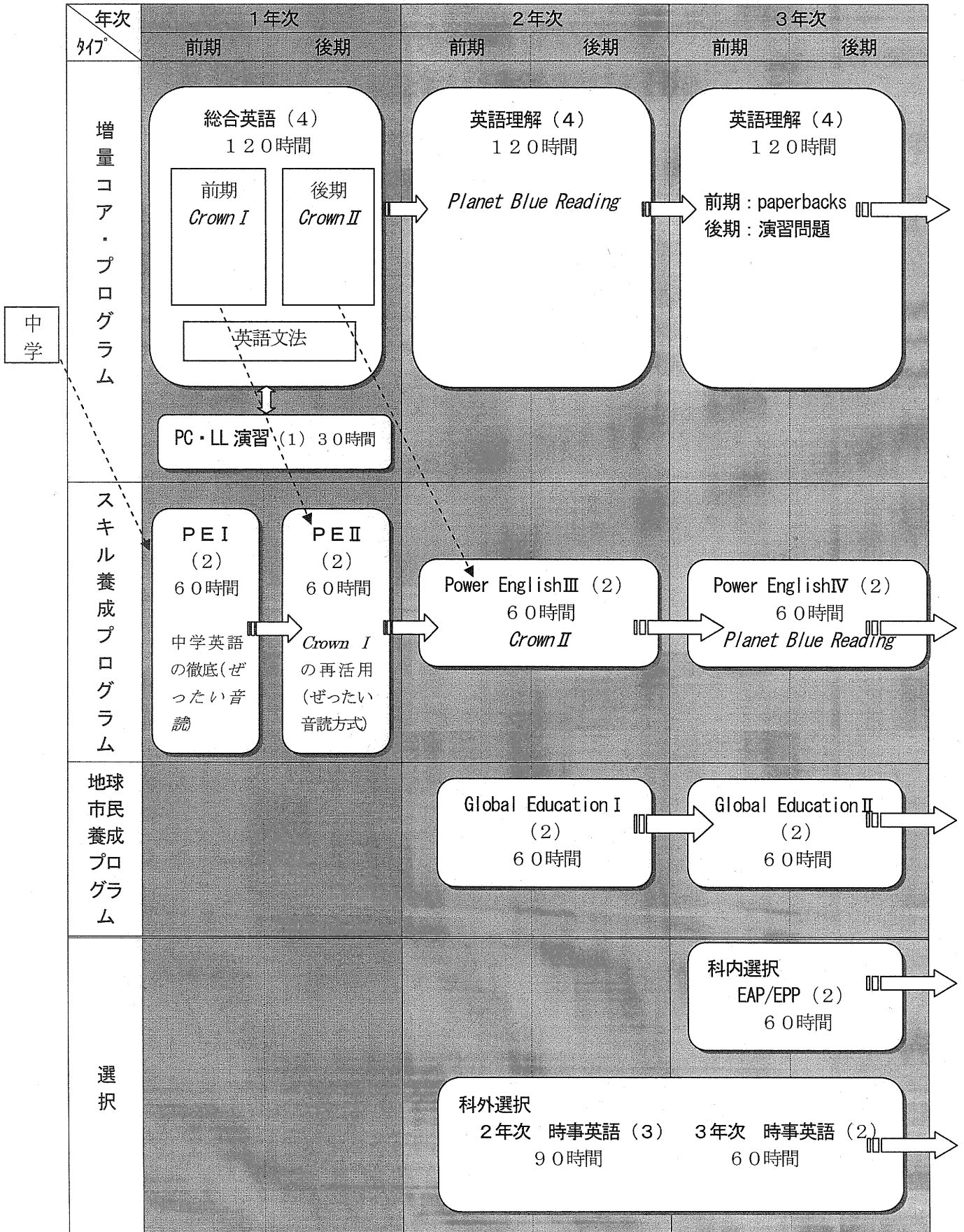
2年次 徹底的な英語使用

1年次 徹底的刷り込み



新・教育課程

* ()内は単位数、点線矢印は教材の繰り返し利用、1単位時間は45分授業



Ⅲ. 各指導プログラムの内容

Ⅲ.1 増量コアプログラム（1年次～3年次）

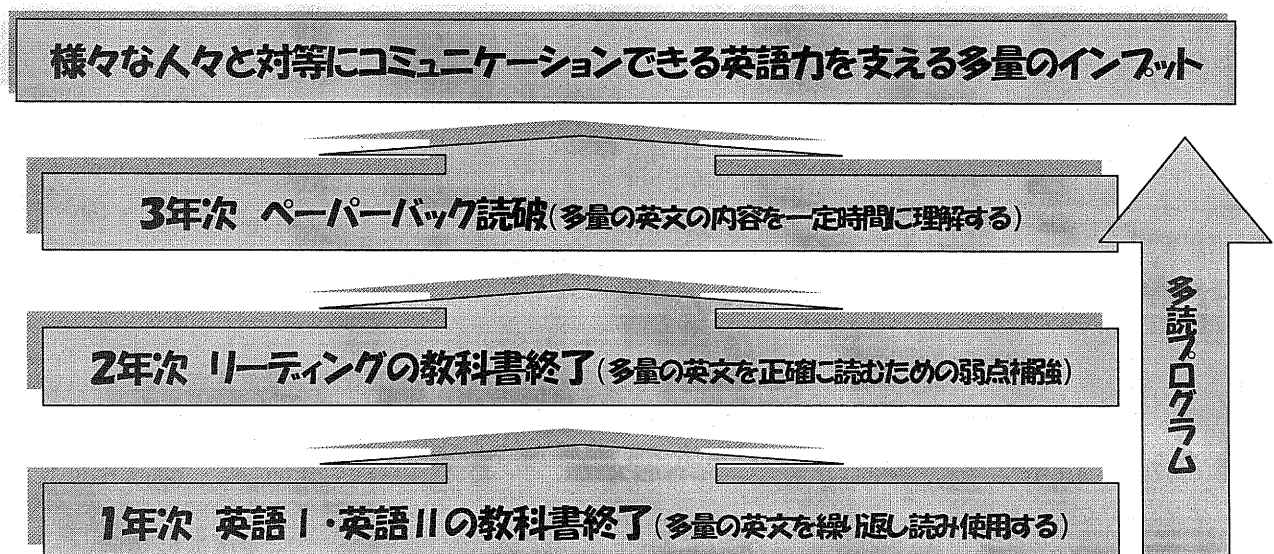
Ⅲ.1.1) 本プログラムのねらい

- (ア) 和訳先渡しによる授業で、英語の内容理解にかける時間を最小にする。
- (イ) 生み出された余剰時間に、さらに多くの英語を読む。
- (ウ) 英語を何度も読むことで、英語に触れる量を多くする。
- (エ) 英語に触れる量を多くすることで、頭に残る英語の量を多くする。
- (オ) さまざまな活動を通じて、学んだ英語を自分で使えるようにする。

Ⅲ.1.2) 本プログラムに含まれる科目・研究テーマ

科目	学年・単位数	研究テーマ
総合英語	1年・4単位	和訳先渡しによって、英文の内容理解にかける時間を最小化し、OUTPUTに繋がるINTAKEの量を増やす。生み出された余剰時間で、音読等でINPUTの確実な定着を目指すとともに、2冊目の教科書を終了する。
英語理解	2年・4単位	和訳先渡しによって、英文の内容理解にかける時間を最小化し、OUTPUTに繋がるINTAKEの量を増やす。生み出された余剰時間で、生徒の興味関心に応じたアラカルト学習を行い、言語面の正確さを強化する。
英語理解	3年・4単位	ペーパーバックを個人のペースで読むことで、多量の英語を読む習慣を身につけさせ、英文を鑑賞する力にまで高める。
高知西高校多読プログラム	1年～3年 課外活動	個人の興味関心に合った英語の本を、楽しみながら、たくさん読む習慣を身につけさせる。

Ⅲ.1.3) 本プログラムの概要図



Ⅲ.2 スキル養成プログラム

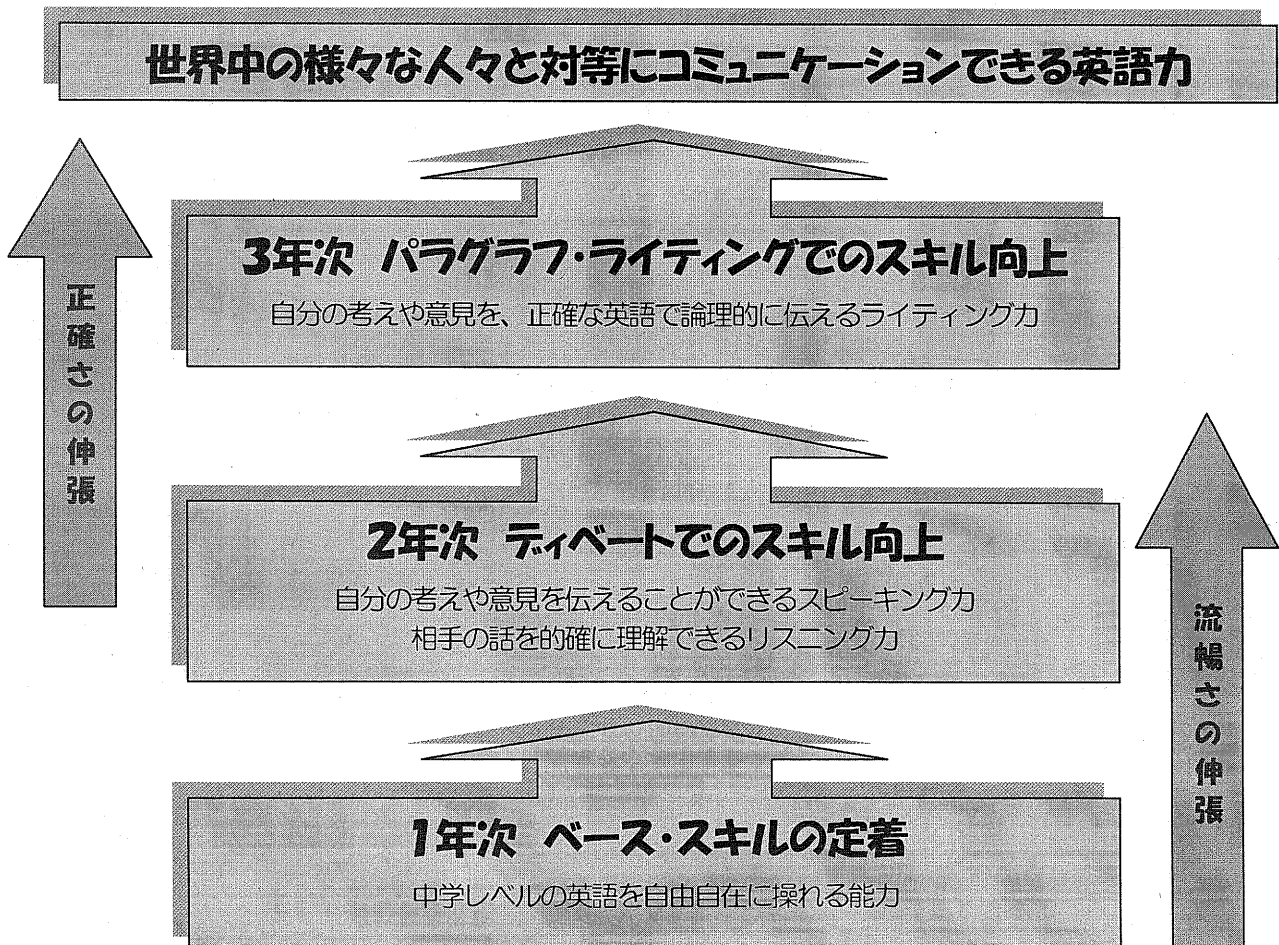
Ⅲ.2.1) 本プログラムのねらい

- (ア) 中学校レベルの英語を自由自在に使うことができる (1年次)
- (イ) 本校が定める中級レベルのディベートを行うことができる (2年次)
- (ウ) 30分で150語程度の1つの主題を持つパラグラフを英語で書くことができる (3年次前期)
- (エ) 10人程度で行うディスカッションに参加し、意見受信・発信ができる (3年次後期)

Ⅲ.2.2) 本プログラムに含まれる科目

科目	学年・単位数	ねらい
パワー・イングリッシュⅠ	1年前期・2単位	中学校レベルの英語を自由自在に使うことができる。
パワー・イングリッシュⅡ	1年後期・2単位	高1レベルの語彙・表現を使うことができる。
パワー・イングリッシュⅢ	2年・2単位	本校が定める中級レベルのディベート(p.134-5参照)を、高校レベルの語彙・表現を使いながらできる。
パワー・イングリッシュⅣ	3年・2単位	30分で150語程度の1つの主題を持つパラグラフを英語で書くことができ、10人程度で行うディスカッションに参加し、意見受信・発信ができる。

Ⅲ.2.3) 本プログラムの概要図



III. 3. 地球市民育成プログラム

III. 3.1) 本プログラムのねらい

- (ア) 世界の様々な人々と対等に意見交換ができる英語スキルを身につけることができるような使用場面を設定し、英語使用を促進する
- (イ) 地球市民にふさわしい知識・感性を有し、問題解決のために行動できる人材を育成することができるようなテーマ・課題を設定し、生徒各自がさらに問題を深化させて主体的に取り組めるように支援する

III. 3.2) 本プログラムに含まれる科目

科目	学年・単位数	研究テーマ
グローバル・エデュケーションⅠ	2年・2単位	世界の人々、社会、文化、世界の諸課題（環境、人権問題、戦争と平和、開発）について事実を知る。自国文化と異文化に興味・関心を持ち、文化の相違に寛容になる。問題解決のために、積極的に行動することができる。英語で他者とコミュニケーションできる。（受信・発信）
グローバル・エデュケーションⅡ	3年・2単位	グローバル・エデュケーションⅠとⅡのテーマ学習で学んできた事柄の中から関心のある課題を選び、それに関連のある研究課題を自ら設定・リサーチし、その結果を英語でプレゼンテーションでき、2,000語程度の英文にまとめることができる。

III. 3.3) 本プログラムの概要図

